

令和6年度
臼井中学校
第3学年進路だより
『最終号』

学励進

令和7年3月11日
第62号
文責：大越 秀行
「蒔いた種はみな生える」

「48回目の臼井中卒業式、当日にそえて」

とうとう、卒業式当日を迎えました。3年前の4月に入学して以来、多くの日々を積み重ねてきました。その中で本年度、進路に係る内容と少しの生き方・考え方のヒントになればと思い、この進路だより「学励進」の発行を積み重ねてきました。

さて、たより第1号では次のように記載しました。



進路とは、決して就職先・進学先を決めることだけではありません。進路を考えるということは、「自分の生き方を考える」ということです。この先、数十年という人生・未来が、みなさんにあります。その人生をどのように進むのかを想像し、そのためにどんな仕事をするのか等を考えていく必要があります。臼井中学校に入学して1年生で「学んだ」こと2年生で「励んだ」ことをもとに、自分が「進む」べき未来のために、状況を考えて判断し自ら決定していきましょう。(校歌より引用) ◀このことから、たよりの題字を決めました。

この1年間でみなさんが、より大きく成長することを願っています。

以上の記載通り、多くの卒業生たちは確実に成長しました。中2までに、「できなかったことができるようになったこと(これを成長したといいます)」、特に受験を控えての1年間だったので、人それぞれ長短はありますが学習に向け見通しを立てて努力する姿勢が身についたことです。その結果が下記の進路先につながりました。また、たより48号では以下のように記載しました。

『合格』とは、その人の人格が、その学校に合うことです。そして、人格とは、その人のその人の性格、品格、人柄、人間性等です。その中で、今学生であるみなさんにとって一番大事なことは、学びを求める**ひた向き**(ある一つの事柄に一生懸命になること)さです。

日々の授業の中での学び、集団で生活するための公での生活態度はどうあるべきかの学びです。

第1希望で合格した人、第2希望で合格した人…それぞれあったと思いますが、合格した事実が大切なのです。今現在の卒業生に合った学校に決まったことが尊いのです。どうか自分に合った進路先だからこそ、その進路先で、学習面・生活面で大いに活躍してほしいです。臼井中の3年間で培ってきた活動力は自分を裏切らないはずです。自信をもっていろいろな場面に挑戦していきましょう。先生方は卒業生123名の活躍を願い、進路先での頑張りに大いに期待しています。

- 【進路先】 公立⇒市立千葉、柏井、佐倉、佐倉西、佐倉東、佐倉南、多古、千葉北、津田沼高校 成田北、成田国際、船橋、幕張総合、松戸国際、実籾、薬園台、八千代八千代東、四街道、市立習志野、印旛特別支援、市川大野特別支援 (3/10 現在)
- 私立⇒N校、愛国四街道、明星、木更津総合、秀明八千代、松陰、拓大紅陵高校 千葉敬愛、あずさ第一、東海大浦安、中山学園、二松学舎大柏、前橋育英横浜、わせがく、敬愛学園、渋谷幕張、昭和秀英、昭和学院、成田千葉英和、千葉経済、千葉黎明、東京学館、日大習志野、八千代松陰



最後に、保護者の皆様、卒業生の進路決定に当たり、ご協力誠にありがとうございました。これまでの日々は思春期の真ただ中にあり合意するために、ぶつかり合うことも多々あったはずですが、これも卒業生たちが大きく羽ばたくための生みの苦しみだったと思います。本当に、お疲れさまでした。その甲斐あつての証拠は、本日の立派な卒業生の姿にあります。素晴らしい一日になりますように。